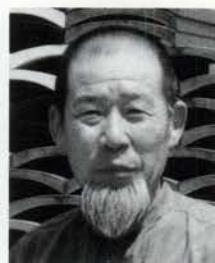


第26回 井植文化賞 受賞者発表

主催・財団法人 井植記念会

文化芸術部門



山田脩一
（淡路かわら房主宰）

選考委員
岡田 弘
中島徳博
河崎晃一

科学技術部門



富永圭介
（神戸大学分子フォトサイエンス
研究センター教授）

選考委員
石山靖男
森脇俊道
真山滋志
山村博平

社会福祉部門



法団家庭養護促進協会
（理事長今井鎮雄）

選考委員
野上文夫
森本章夫
橋本明

地域活動部門



一絃須磨琴保存会
（会長小池弘三）

選考委員
林五和夫
並川明子
小泉美喜子

報道出版部門



有限会社月刊神戸つ子
（代表取締役編集長小泉美喜子）

選考委員
山口一史
上羽慶市
原口洋一

国際交流部門



特別非営利活動法人国際音楽協会理事長
（順不同）

選考委員
宇都宮浩
住野和子

戦 後、日本の復興と繁栄に大きな足跡を残した三洋電機株式会社の創設者、故井植歳男氏の遺志により、昭和44年11月に「財団法人井植記念会」が設立されました。同会は、兵庫県在住、またはゆかりのある個人、あるいは団体で、それぞれの分野で目覚しい活躍をされたり、多大な貢献をされた方（団体）の功績を賛え、地域社会のよりいっそうの発展に寄与したいと、昭和52年に「井植文化賞」を制定しました。

今年の受賞者は、選考の結果、上記のとおりに決定しました。受賞者にはライオンのブロンズ像と、副賞として賞金（個人30万円、団体50万円）が贈られます。第26回井植文化賞表彰式 平成14年10月5日（土）午前10時30分から



第26回井植文化賞 文化芸術部門

淡路瓦に新しい世界観

山田脩二

〈淡路かわら房主宰〉

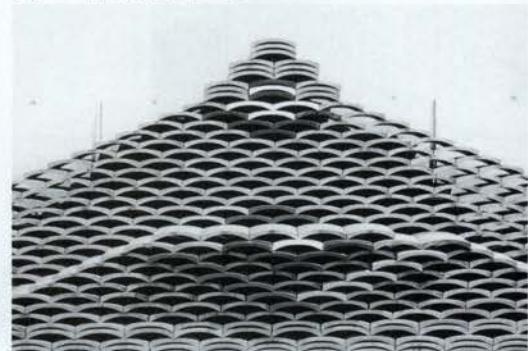
選考委員

中島徳博〈兵庫県立美術館学芸部門マネージャー〉

河崎晃一〈芦屋市立美術博物館学芸課長〉

岡田弘〈元町画廊社長〉

製作中の滝川学園正門モニュメント



推薦のことば

今回の受賞者山田脩二是、その人生に対するラディカルな姿勢とライフスタイルにおいて、きわめてユニークな存在である。山田は、70年代にはすでに写真家として一家を成し、日本の都市の情景を光と影の交差の中でとらえた作品群は、日本の現代写真を代表するもののひとつとして定評がある。1982年、山田は写真家に「終止符宣言」をして淡路に住み着き、地場産業である瓦の製造に専念する事になった。

選考経過

文化芸術部門は美術、文学、音楽が毎年文替制で選考が行われ、今回は美術関係からの選考となつた。

候補には以下の方々の名が上がつた。

兵庫県立近代美術館での回顧展を評価して白髮一雄、西宮市大谷記念美術館で個展を開いた元永定正、三田から始まつた世界巡回ウインドキャラバンの新宮晋二。また、地域に根ざした活動を広げ若い世代を育てているCAP-HOUSEの杉山知子、民間組織の芸術運動「ボランティア」を通じ人間的活動を続ける坂尾貞治。現代の社会・政治状況に対するメッセージを発信する権忠。さらに村上翔雲、上原智祐、塚脇淳、藤原向意、若林和男ら、数多くが高い評価を受けた。その中で、現代空間において瓦に新しい表情をもたせ、瓦産業の蘇生、活性化に

大きな貢献を果たしたその活動、功績が最も受賞にふさわしいという事で特に注目が集まつた、淡路瓦師・山田脩二に決定した。

時代の都市の変化を、カメラを通して見詰めてきた山田は、日本の都市環境や景観に日本独自の風土性を導入しようとしているように思われる。

〈中島徳博〉

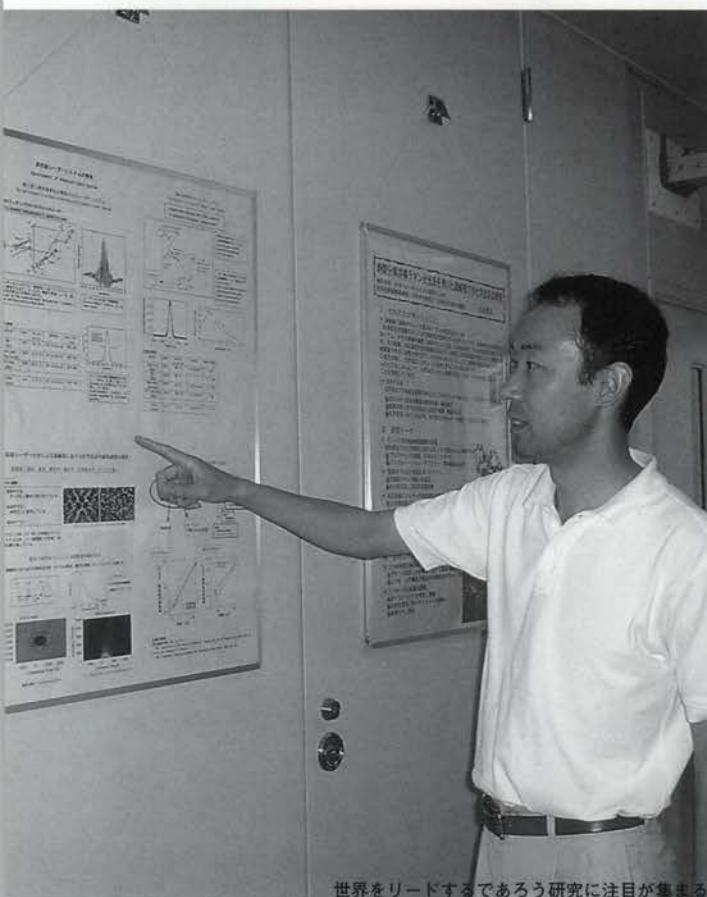
1. 河口龍夫〈現代美術〉
2. 山田幸平〈作家〉
3. 横井和子〈ピアニスト〉
4. 荒木高子〈陶芸家〉
5. 多田智満子〈詩人〉
6. 田原富子〈エピソード〉
7. 畠外義〈画家〉
8. 安水稔和〈詩人〉
9. 延原武春〈美術家〉
10. 山沢栄子〈写真家〉
11. 神戸灘ライオンズクラブ
12. 青木はるみ〈詩人〉
13. 今竹七郎〈グラフィックデザイナー〉

14. 菅沼潤〈演出家〉
15. 宇江敏勝〈作家〉
16. 光安義光〈建築家〉
17. 大前哲〈作曲家〉
18. 鈴木漢〈詩人〉
19. 鳩本昭三〈前衛美術〉
20. 甲南高等学校貴志康一記念室
21. 佐伯敏光
22. 植松奎二〈彫刻家〉
23. 鈴木雅明〈指揮者〉
24. 時里二郎〈詩人〉
25. 小曾根實
(ジャズミュージシャン)

歴代受賞者

これまで専ら屋根の素材であった瓦を、広場や歩道に敷いて都市景観に大きな変化をもたらせたのも山田の業績のひとつである。東京世田谷の「用賀プロムナード・いらか道」は、駅から世田谷美術館へのアプローチを視覚的にもまた触覚的にも楽しいものとしている。60年代、70年代の高度成長の時代の都市の変化を、カメラを通して見詰めてきた山田は、日本の都市環境や景観に日本独自の風土性を導入しようとしているように思われる。

（中島徳博）



第26回井植文化賞 科学技術部門

独創的な研究で
富永圭介

(神戸大学分子フォトサイエンス)
研究センター教授

選考委員

石山靖男(神戸新聞社常務取締役)
森脇俊道(神戸大学工学部長)
真山滋志(神戸大学農学部長)
山村博平(神戸大学医学部長)



推薦のことば

多くの化学反応は液体中で起き、液体の性質は化学反応に大きな影響を及ぼす。したがって液体の性質、特に動的な性質を知ることは、化学反応を理解し、さらに新たな反応を開拓していくうえできわめて重要な課題である。

富永博士は、超短パルスレーザーを用いた多くの独創的な研究手法を開発し、液体の動的な性質や化学反応のダイナミクスを明らかとくに液体運動に関する高次の非線形分光実験を世界に先駆けて行

い、液体中の微視的な動的挙動、構造、相互作用などに関する重要な知見を得、その学術的貢献に対して非常に高い評価を受けている。その後、世界最短の高出力赤外短パルスの発生およびそれを用いた非線形分光法の開発に成功し、また光と電波の境界領域の電磁波であるテラヘルツ電磁波を用いて、生体高分子、ガラス、液体などの分子ダイナミクスの観測に成功するなど、その研究は世界をリードする。

(森脇俊道)

選考経過

これまで授賞者がいなかつた理学系も優れた人材がいるのではないかという意見が出され、今年から工学部・農学部・医学部・理学部から推薦者が出された。工学部からは昨年に引き続き、固体物理学・材料関係・最近では生体材料を含む材料の分野で世界的に活躍している富田佳宏。農学部からは、植物の遺伝情報ゲノム、ミトコンドリアにおける父親の中村千春。医学部からは、中村千春。医学部から昨年に引き続いて生体リズムの分子機構(葉などの採取において身体にとっても効果的な時間があるのではないか等)に関する岡村均の名前があがった。富永圭介は、40歳の新進気鋭の研究者である。

歴代受賞者

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 櫻井春輔(岩盤力学) | 16. 神島安啓(応用科学) |
| 2. 杉山武敏(遺伝子学) | 17. 加藤征史郎(生細胞生物学) |
| 3. 土田広信(農芸化学) | 18. 天津睦雄(耳鼻咽喉学) |
| 4. 鳴田勝次(都市計画・建築学) | 19. 山本恵一(電子工学) |
| 5. 沢村誠志(障害者の社会復帰) | 20. 真山滋志(植物病理学) |
| 6. 安藤四一(音響の研究) | 21. 水野耕作(整形外科学) |
| 7. 辻莊一(家畜育種学) | 22. 森脇俊道(精密工学) |
| 8. 西塚泰美(生化学) | 23. 上坪宏道(加速器物理) |
| 9. 中岡睦雄(ワーエレクトロニクス) | 24. 春日雅人(糖尿病治療の研究) |
| 10. 清水晃(微生物生態学) | 25. 大塚鉄雄(生物資源のリサイクル化研究) |
| 11. 岡田安弘(機械能学) | |
| 12. 賀谷伸幸(計測工学) | |
| 13. 田中千賀子(薬理学) | |
| 14. 安田武司(農芸有用植物学) | |
| 15. 廣畠和志(整形外科学) | |



(上) 里親家庭のはんぱこキャンプ(下) 里親家庭の交流会

選考経過

今年は昨今の世相を反映し、子どもに視点をおいた活動に注目が向けられた。ハンドディを持つ子どもたちのための、長年の功労への評価が高い兵庫県おもちゃライブフリーハンディーははじめ、里親を求める愛の手運動の家庭養護促進協会、子どもへの虐待、暴力を未然に防ぐ活動をはじめとし、虐待をした親に対するワーカーショップを行ったり、DV問題に力を注ぎ、国内外で活躍するエンパワーメント主宰・森田ゆみ、交通遺児や阪神淡路大震災の遺児らを支援するあしなが育英会等、多くの名が挙がった。

結果、今年で活動40周年を迎えた里親を失った子どもたちに里親をもとめる活動を続けていた、家庭養護促進協会に贈ることとなつた。

歴代受賞者

1. 福来四郎
2. 小畠延子
3. 神戸市立友生養護学校
4. 春本幸子
5. 菅永繁男
6. 神戸大学看護ボランティア
7. 米田寛子
8. 神戸東部地域入浴サービス実施委員会
9. 涌井安太郎
10. 山本博繁
11. エリア会OHPこうべ
12. 誕生日ありがとう運動
13. 兵庫ボランティア協会
14. 神戸いのちの電話
15. 貢川記念館
16. 点認ボランティアグループ連絡会
17. KOBE在宅ケアボランティアグループほほえみ
18. 植崎茂登子
19. 楽団あぶあぶ
20. 神戸ライフ・ケア協会
21. 神戸新聞厚生事業団
22. 鈴木郁
23. ボランティアグループやすらぎ
24. メインストリーム協会
25. 木村佳友

第26回井植文化賞 社会福祉部門

愛の手運動40年 子どもたちに里親を求めて 社団法人家庭養護促進協会

選考委員

野上文夫(平安女学院大学教授)
橋本明(家庭養護促進協会事務局長)
森本章夫(神戸新聞社論説委員長)



推薦のことば

これは神戸新聞、ラジオ関西、毎日新聞(大阪)の全面的な協力で展開されているが、この間、新聞やラジオを通して里親希望の人には実際に3万5700人、里親に迎えられた子どもは2002人にのぼる。同協会は、愛の手運動推進の一方、一般家庭への相談活動、里親を希望する人や里親に対し、

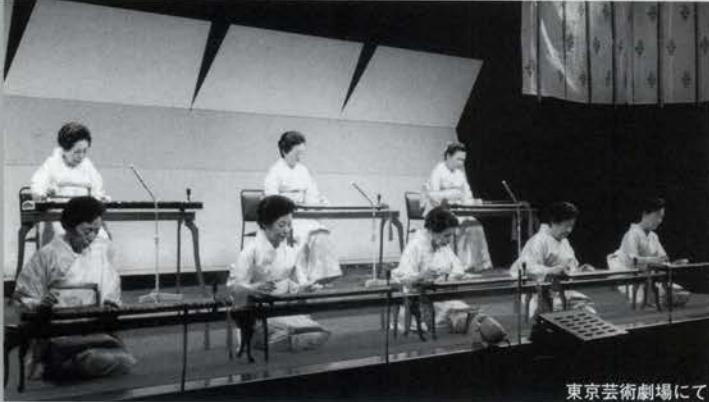
毎日新聞(大阪)の全面的な協力で展開されているが、この間、新聞やラジオを通して里親希望の人には実際に3万5700人、里親に迎えられた子どもは2002人にのぼる。同協会は、愛の手運動推進の一方、一般家庭への相談活動、里親を希望する人や里親に対し、

研修・指導・調査活動や広報活動を推進するとともに、親子関係の親を求める「愛の手運動」をあり方や家族の意味など予防的活動にも力をいれ、今まで、わが国の家庭養護・里親制度のあり方をリードしてきた意義は大きい。しかもその活動は市民の寄付を中心に行なってきたことは、今日注目されているNPO活動の先駆をなすものである。国も児童虐待等の対策の遅れを改め、専門里親制度を検討中であるが、協会の果たした先導的役割は大きい。

〈野上文夫〉



長野県小布施教室でのおけいこ風景



東京芸術劇場にて

平安時代から須磨とゆかりの深い一絃琴を復興しようとして須磨寺の小池義人前管長（故人）が昭和四十年に有志十人で須磨琴保存会を発足した。以来、長年にわたり努力研鑽を続け、指導、普及、演奏活動の結果、各方面からその芸術文化活動が評価された。神戸市から「民族芸能伝承団体」、兵庫県から「兵庫県無形文化財」、小池美代子氏が「文化財保持者」とされるなど、須磨琴は昭和の復興を成したといえる。義人前保存会長急逝のあと

選考経過

今回は候補として、地域の人々に芸術文化を広める活動を続ける堀口東四郎垂水生活文化協会会長 地方に根ざした活動が著しい東播磨文化団体連絡協議会一度は姿を消した須磨琴を復活させ地域に浸透させた一絃須磨琴保存会（会長・小池弘三）の名が挙がった。

また、兵庫県中町で村おこしの一環として、ヘルディーホールでクラシック音楽を開催したり、トライアルウイークを町中で取り組んだりと、活発な動きがめざましい中町文化協会にも注目が集まつた。

歴代受賞者

- 城崎郡日高町
- 明石市民のコミュニティ活動
- 一宮町文化協会
- 尼崎郷土史研究会
- 尻池南部地区自治連合協議会
- 月刊神戸っ子
- 明延ふるさとづくりの会
- KICS
- 丸山地区住民自治協議会
- アンドレ・ブリュネ
- 神戸新聞文化センター
- 尼崎市演劇連絡協議会
- ブナを植える会
- 松島興治郎
- 山村留学制度

- 山村硝子株式会社
- (社)淡路青年会議所
- 保健医療福祉ICカードシステム開発検討委員会
- 情報センター
- 洋菓子KOBE展
- 戸谷松司
- 中西通
- 宝塚NPOセンター
- 武田清市
- 横谷温子

第26回井植文化賞 地域活動部門

古典の継承と現代感覚の融合 一絃須磨琴保存会

選考委員

林五和夫〈ふるさとひょうご創生塾塾長〉

並川明子〈兵庫県教育委員会委員長〉

小泉美喜子〈月刊神戸っ子編集長〉



推薦のことば

小池弘三氏が繼承、会員一体となり活動を続いている。現在では、会員も二五〇名、毎年五回の定期演奏、年間二〇〇回近くの演奏依頼やボランティア活動に対応している。また、小中高生をふくむ後進の指導や、海外からの入港船歓迎や国際会議での演奏、海外公演など活動の巾は広い。さらに、古典曲の保存継承はもとより、現代感覚の新しい一絃音楽の確立、他楽器との合奏などたゆまぬ研究と実践は地域文化振興に貢献するところ大である。

（林五和夫）

第26回井植文化賞 報道出版部門

継続はパワーなり (有)月刊神戸っ子

選考委員

山口一史(ラジオ関西代表取締役社長)

原口洋一(NHK神戸放送局長)

上羽慶市(神戸新聞社論説委員長)



「KOBECCO」「燐KOBECCO」「作家たちの大震災」



昭和36年3月に創刊したタウン誌月刊神戸っ子は、平成15年1月の新年号で500号になる。創刊40年を迎えた平成13年には、神戸に縁の深い作家たちが、阪神淡路大震災を語った「作家たちの大震災」を上梓し、兵庫県公館で、田辺聖子氏、藤本義一氏出席のもと記念講演会を開催した。またこの年の秋に、シニア版の季刊「燐KOBECCO」を創刊するなど、時代の潮流に敏感に反応し、記録するタウン誌として

選考経過

出版からは、「大震災をどのように歴史に刻み、未来へ引き継ぐか」をテーマにしたシリーズ完結編、「阪神大震災研究5大震災を語り継ぐ」(神戸大学震災研究会著)や、絶対寸前のコウノトリを

悩みがえらせようとする人々の苦悩と喜びのドラマを綴った「加藤紀子著『コウノトリ大空に帰る日』」、食総合研究所編集の「うまいもん探偵の味嘶神戸のグルメ今昔」(神戸新聞総合出版センター)、「憧れのバティシェと洋菓子たち」(村上和子著、神戸新聞総合出版センター)、タウン誌「月刊KOBECCO」をはじめ「作家たちの大震災」の出版で評価の高い(有)

「神戸っ子」の名が挙がった。

テレビ番組では、御蔵通りの復興へのあゆみを記録した「NHKスペシャル『ちよだはよみがえるか』」が候補となつた。

歴代受賞者

- 「あなたの愛の手」
- 「神戸空襲を記録する会」
- 「兵庫県学校厚生会・落合重信」
- 「サンテレビ『訪ねてみたい兵庫の手づくり』」春木一夫
- 「兵庫探検」「兵庫史を歩く」
- 「兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座」「神戸の中堅150社」
- 「神戸新聞淡路経済局」「淡路祭事記」
- 「神戸からこにちは」「天津からこにちは」
- 「神栄赳輝」
- 「私たちの昭和史」
- 「パルモア病院日記」
- 「ECCO」
- 「NORTH MAGAZINE KOBECCO August 2002 Vol.495 燐 KOBECCO」
- 「作家たちの大震災」
- 「燐 KOBECCO」
- 「月刊神戸っ子」
- 「NHKスペシャル『ちよだはよみがえるか』」

の挑戦意欲は、健在である。大震災と不況の中でのタウン誌づくりは、容易なことではないが、息切れすることなく神戸に元気の風を送り続けてきた実績は、大きい。神戸っ子が拠点を置くトアロードには、平成17年の1月17日に、NHK神戸放送局が、新しい局舎を再建し発信を始めるが、まちづくりに貢献してきたタウン誌として、今後の活動にも期待したい。

〈原口洋一〉



第26回井植文化賞 国際交流部門

中国音楽で国際交流を
張文乃 〈国際音楽協会理事長〉

選考委員

宇都宮浩(兵庫県部長)

住野和子〈神戸YMCAクロスカルチュラルセンタープログラムディレクター〉

金光清行(神戸市国際協力交流センター専務理事)

兵庫県公館にて移情閣友の会コーラス同好会、胡弓同好会を指揮し、会場のみなさんとうたう



推薦のことば

張さんは、父が中国人、母が日本人。神戸で生まれ、大坂音楽大卒業後、母校の神戸中華同文学校の音楽教師に。子供たちに母国の歌を教える

と父母に乞われて、中国から楽譜を取り寄せ、小・中向きの中国歌曲テキストを創り始め「中国鋼琴曲選」を第六巻まで12年がかり作成。また神戸中華同文学校校長会合唱団を1962年から指導し、「鈴の会」は今年40周年。

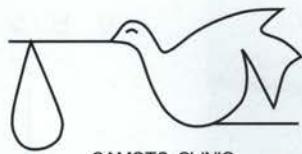
選考經過

候捕としては、被災地における生きがい支援事業や、国内外における自然災害被災地に対する救援活動などが評価された。被災地NGO協働センターの名が挙がったほか、音楽を通して国際文化交流に貢献度の高い国際音楽協会理事長の張文乃、発展途上国の開発援助および貧困や災害に苦しむ世界の人々に対して緊急医療活動を行つてはいるAMDA兵庫が注目を集めた。

歷代受賞者

1. 加藤一郎 〈神戸日独協会名誉会長・神戸大学名誉教授〉
 2. 神戸日本チリ協会
 3. 神戸YMCAクロスカルチャーラルセンター／留学生ホストファミリープログラム
 4. CHIC
 5. アルカディア協会
 6. 神戸ブータン友好協会
 7. 海星病院ボランティア・グループ
 8. 桑原泰業 〈箇西印文化協会会長〉
 9. ミニFM局FMわいわい
 10. 関西バングラディッシュ・プロジェクト
 11. 古澤峯子 〈神戸日豪協会副会長〉
 12. 兵庫県外国人学校協議会
 13. 藤岡重司 〈兵庫県海外同友会専務理事〉
 14. 高井恒昌 〈株〉千葉留学生奨学財団理事長
 15. 西垣敬子 〈宝塚アフガニスタン友好協会代表〉

若手音楽家の支援やチャリティー
コンサートで「楽しく歌う会」を。
また移情閣友の会のコーラスチー
ムの指導も続いている。神戸中華
同文学校100周年記念に、中国
音楽コンクールを開き中国音楽愛
好者が増加。2002年の第3回
コンクールは中国音楽への挑戦が
より高度なものに。この10月には
入賞者と共に訪出し、宁波と杭州
で音楽交流会を開く。張さんの中
国音楽への情熱は限りなく、市民
レベルの交流で通じ合う心が美し
い。



SAMOTO CLINIC

佐本
産科



ママといっしょに

りこ
あかちゃん : 山本理子ちゃん
(平成13年2月20日生まれ)

パパ : 徹さん
ママ : 佳子さん

「快食」・「快便」・「快眠」で元気に育ってね!!

★佐本産科・婦人科★ 佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
TEL:078-575-1024 (病室TEL:078-577-7034)

市バス上沢4停南スグ

●駐車場完備●

商売繁盛占い その参



運勢コンサルタント 笑(わらおう)生
心配事・悩み事・相性等…

電話 078-321-6865
鑑定11時~21時
定休金曜日



人生を愉しむためには、必ずしも環境が不可欠ではありません。むしろ、単純なことでも喜べる感性こそが必要なかも知れません。

ます。

「希望」をもつことです。人間は本気で夢をもてるだけで幸せになれるのです。

次に「芸術」をこよなく愛することです。すると空や海や山などの自然美を眺めているだけで幸せな気分に浸れるのです。
そういう意味でこのくつきり伸びた「希望線」と長く伸びた「頭脳線」のコンビネーションはあります。長い手相だといえそうです。

人間と舞台



世良美術館



瀬戸本淳
株瀬戸本淳建築研究室

人間は、自分の意志とは全く関係なく、偶然に生まれてきます。そして、いろんな偶然に出会って、選択しながら人生を歩んでいきます。人生のターニングポイント毎に、道を示してくれる感謝すべき大事な人々と出会つたりするのですが、その出会いも、よく考えてみると偶然なのかも知れません。一人ひとりの人生は、まことに不思議のかたまりです。

この世に同じものは決してないという意味で、一人ひとりの生きるということは、特別な芸術と考えることができます。それぞれが自分の人生をいろいろ、そして何かを残していく。たとえ人の一生は短くとも、その人のつくりあげた何かは（芸術は）、長く後に残つていきます。ですから生きるということは、人生の舞台で演技しているようなもの、とも言えます。そう考えれば、私達は人生の舞台装置づくりにも目を向けて、それをよりよく自分たちにふさわしいものにしていかなければなりません。

一人ひとりが自分にふさわしい、よりよい環境に対して希望をもつた時、小さな事の積み重ねになりますが、都市という共同体の、社会の変革につながっていくことになります。同時に、一人の自由な人間、一人ひとりの個性を大切にする生き方を取り戻すことにもなります。

自然、科学、信仰、期待、体感、文化、経済的な目的など、すべてを含めた魅力的な都市像をみんなで構築する時には、正しさを求めることがよりも、それぞれにとつてのふさわしさ、みんなにとつてよりよいものを求める柔軟さの方が、尊重されるべきなのでしょう。

一人ひとりの個性的な想像力で意見をぶつけ合いながら、柔軟に愛をもつて妥協しつつ、環境を変えていく。そのための議論を延々とし続けていく。柔軟さ、寛容、妥協、変化、まちづくりの神髄は、実はこんなところにあるのではないかと考えています。

新下町づくり 21世紀型



高田昇
COM設計研究所



新長田の再開発計画で実施予定のビオトープ（自然創造型ガーデン）のミニ版が住民と行政の協力で実験中

海と山が迫る神戸にあって、兵庫・神戸の双子港と都心に近くかつ唯一の「広々とした土地」が新長田界隈いではなかつたか。ここに明治から大正、昭和初期にかけて近代都市住民の街が形成されたのも当然なことのように思われる。この一帯こそが硬派・神戸を支えてきたのである。

かつて神戸大学工学部もここに展開した。技術を大切にし、よく働く人たち、分業したい、助け合う人たち、だらざつくばらんで人情が厚い下町ができあがつた。

下町は、実はリッチである。たくましく、心が豊かな街。だから震災復興も、もっとも広範囲で区画整理・再開発と

麦粉にいたる、あらゆる素材を加工する業でもって成立、鉄から石油、そしてゴム、小麥粉といえど、オシャレでファッショナブル：が蔓延して、すっかり「軟派の街」という印象だ。でも本来は、奈良・平安朝以来の港湾都市であり、海外から運ばれてくる良・平安朝以来の港湾都市であり、海外から運ばれてくる

いう困難な事業に取り組み、やりとげてきた。

そのスタートからの合言葉は「新下町づくり」。路地型の長屋は、タテ割り長屋すなわちマンションスタイルにかわっても、昔からレンガ敷きの道に、軒先をつないできた緑の群は、コミニニティガーデンとして再現されている。

私が共同再建のコーエイネートにたずさわった御屋敷通1丁目、5丁目の新しいマンションでも、ガーデニングサークルができる、メダカの泳ぐせせらぎ、お地蔵さん、レンガ道に緑のトンネルといった街の庭を育てている。

大橋7丁目は再開発が進んでいるが、いずれできる再開発ビルの大きな中庭に、ビオトープのあるガーデンをつくる計画だ。その実験が、街の片隅で進んでいる。もともと下町はトンボやホタルも人と共存し、風物詩を生み出すところ。町家はエコハウスでもある。原風景の中に新時代の要素を発見した眼力は、さすがである。新長田は、21世紀型下町へと向かっている。

ケミカルから革靴へ

——設立から現在までの会社の歩みをお話下さい。

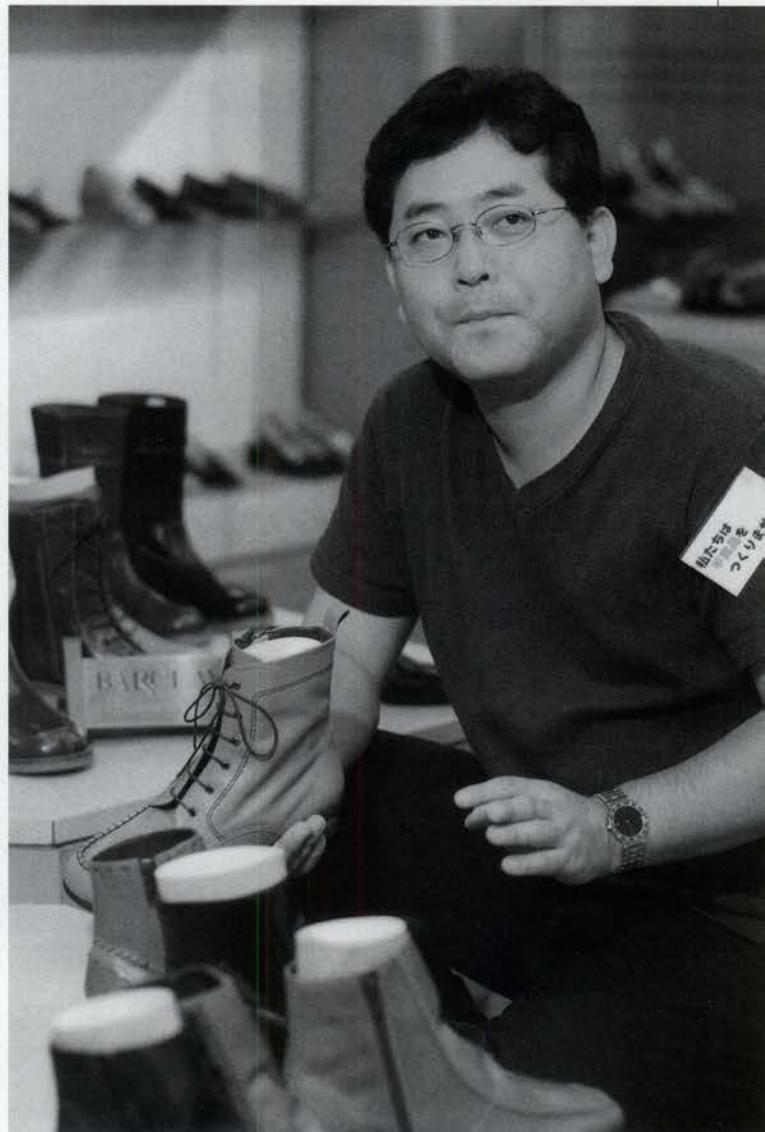
河野 創業は81年前になります。神戸は日本のゴム産業発祥の街です。そしてゴムを使った履き物をつくりはじめたのも神戸が最初です。私たちもいわゆるゴム長靴づくりからスタートしました。戦後になって神戸で

ケミカルシューズが開発されました。ポリウレタンなどいわゆる合成皮革を使つた履き物です。私たちもそのパイオニアとしてケミカルシューズづくりがメインとなっていました。昭和20年代後半から昭和30年代前半の話です。

——ケミカル全盛の頃、かなりの会社があつたそうですが。河野 もともと神戸の地場産業

であったマッチ産業が衰退し、空き工場が増加しました。その工場をケミカル産業が再利用し数も急速に増えていきました。またケミカル産業は日本の外貿獲得のための重要な輸出産業でもあつたのです。ですから相当な数が神戸に集まつていたはずです。現在、組合加盟の正規メーカーが約180社近くあります

たと聞いてます。全盛期はさらにも多かつたはずです。ケミカル産業の市場の成熟と共に、求められるはじめたのはファッション性です。それが昭和40年代だと思いません。ケミカルシューズだけでは商品の幅に広がりがなくなり、私たち共でも革靴をつくりはじめたのです。高度成長と共に所得水準も上がつていきました。安価なケミカルシューズから、



次代を創る① 神戸のニューリーダー

河野忠友
カワノ株式会社 専務取締役

かわのただとも カワノ株式会社専務取締役。1966年神戸市生まれ。長田高校、慶應義塾大学を経て、全日空に入社。その後92年にカワノ株式会社に入社。99年より現職。

未来永劫、長田で物づくりをつづけていきたい

高額の革靴へと消費志向が移っていました。現在私たちの会社では全生産量の8割が革靴になっています。ケミカルシューズはティーンエイジャー向けのファッショントレンンドを短いサイクルで演出するための位置づけに変わってきました。

自社ブランドの展開

——自社ブランドをつくることになつた経緯を教えて下さい。

河野 高度成長期は製造業と卸売業、小売業の3段階がうまく機能していた時代です。ところが卸売業だけに頼っていたのは、製造業としての成長性がないのではないかという危機感を持ちはじめました。そのことに気づきはじめたのが、いまから25年前のことです。その危機感から出たアイデアが、自社で企画開発した商品に自社ブランドを付けて、自分の手で売つていく戦略だったのです。1977年、メトロこうべに直営バイロットショップの1号店がオープンしました。これは日本の婦人靴製造業界にとっては異例のことだったので、当時はバッシングもありましたが、この戦略が

いまに至つているわけです。

——東京進出のきっかけはどのようなものだったのでしょうか。

河野 10年前、看板ブランド・バークリーを切り口にした店舗をつくろうということで、1号店を東京の青山キラー通りにオーブンしました。当時はいまほどファッショントレンードの先端を行くストリートではなかつたですね。

——東京での神戸ブランドの反応はどうですか。

河野 神戸を前面に打ち出すのではなく、さり気ない神戸で僕はいいと思っています。東京から見ると神戸は一地方都市に過ぎないのですが、神戸の人にはみんな神戸に対する愛着がとても深いのです。神戸が日本でいちばんいいと思つてゐるような節があります。確かに僕もそう思つてゐるのですが、東京を中心としたビジネスを運動させ過ぎるのはいかがなものかと思つています。

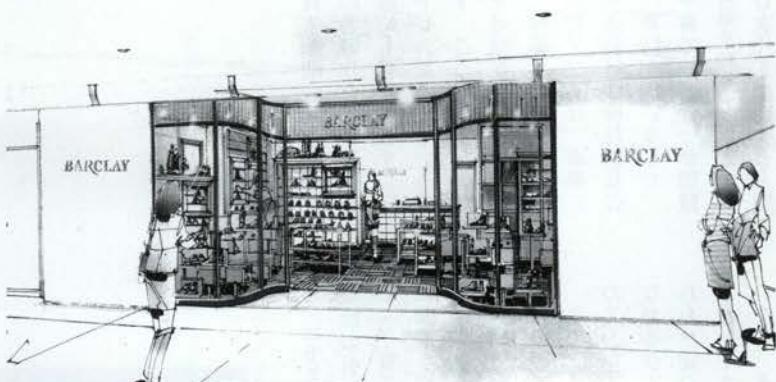
——9月6日には丸の内に新しいショップがオープンしますね。

河野 丸の内は古いまちでありながら商業ゾーンとしては新しい場所でもあるのです。そして

最先端のショップが集まりはじめていた状況もありました。

「丸の内ビルディング」(通称丸ビル)にフラッグシップショッピングをオープンすることで、や

つと僕なりにひとつ結果を出せたような気がしています。新レベル「ランティース」(フランス語でアンテナの意味)は、



(上)2002年9月に、JR東京駅前の「丸の内ビルディング」にオープンする「BARCLAY 丸の内」

(左)西陣織を使った“japonica”。海外でも発表された

30代の働く女性をターゲットに開発しました。欧州の一流ブランド並みの素材と最高の技術を使っています。いわば神戸で生み出せる最上質の靴です。このレベルに大きな期待を寄せています。今後も、長田でつくれる最高の商品をつくりたいですね。



—子育ての身近なオアシス—

まちの子育てひろばが開設

お話を伺った方 兼井孝政さん 兵庫県県民生活部福祉局社会福祉課長

家庭での子育て機能の低下や地域とのつながりの希薄化が進む中、子育てについて誰にも相談できず、一人で悩みやストレスを抱えている親が増えています。こうした現状を踏まえ、子育てを地域が一体となり支援していくと今年度からスタートした「まちの子育てひろば」事業について、県民生活部社会福祉課長の兼井孝政さんにお話を伺いました。

—「まちの子育てひろば」が開設された社会的背景を教えてください。

社会を維持し次代を創造する人間本来の最も基本的な営みといえる子育ての環境が、現在、厳しいものとなっています。家庭や地域に子育てについて相談できる相手がいたこれまでとは違い、最近の核家族化や近隣関係の希薄化により、一人で孤立し、迷いながら子育てをされている人が増えてきているのです。

まちの子育てひろばに行こうよ！

さあ！
立くなりで
まちの子育てひろばへ
行こうよ

相談できる
人なんてい
るないよ

困ったわ
二人なんに大変なの？
やる方が正
しいやれちやん

子育てって
二人なんに大
変なの？

と、子どものしつけや発育に関する相談以外に、「家庭教育の確かめ」や「子育ての精神不安」など親自身に関する相談が約五三%を占め、さまざまな不安を抱えながら子育てをし、相談相手を求めているという傾向がうかがえます。



兼井孝政さん

ひろば事業の一つは、小さな子どもを抱えるお父さんやお母さんが気軽に集まる「場」の提供です。保育所や児童館をはじめ、幼稚園、助産院などの身近な施設をひろばとして



活用し、親子の居場所を提供しています。七月現在、六十七市町約五百カ所で開設され、今後も順次、拡大していく予定です。

ひろばは、仲間づくりや情報交換の場としてだけでなく、助産師や保健士などによる相談事業や、親子体操や自然体験など親子のさまざまな体験を通じて子育てを支援する体験活動事業なども実施しています。

このほか、「まちの子育てひろば通信」を月一回発行し、市町の社会福祉協議会を通じてそれぞれのひろばに配布するほか、コンビニエンスストアなどにも掲示し、子育てに関する情報などを提供するとともに意見交換の場として活用したいと考えています。

——さまざまな地域の団体がこの事業に参画されているそうですね。

そうですね。「場」の提供については、保育協会や看護協会、児童館連絡協議会などから、それ以外の活動へもさまざまな地域団体からの支援をいただいています。

例えば、体験活動事業には、老人クラブや婦人会、愛育班、いづみ会といった団体の方々にボランティアとして参画していただき、昔遊びや親子料理教室を実施するなど、子育てを地域で支援する体制が徐々に整

いつつあります。

また、県立こどもの館でも体験活動指導員を設置し、県内各地のひろばへ出向き、人形劇やゲーム遊び、クラフト工作、紙芝居などの実践や指導などを行っています。

——今後の事業展開などを教えてください。

このひろば事業がスタートする前から、独自の活動を実践している地域がありました。このように子育て支援というものは、各市町ごと、あるいはもっと身近な地域で主体的に行われるべきものです。そこで、県では、本年度から三ヵ年で、ひろば事業を重点的に推進することにより、地域全体で子育てを支える仕組みの構築に努めたいと考えています。一年目には、「まちの子育てひろば通信」を活用し、ひろばの周知を図っていく。二年目には、県下全市町でのひろば開設を目指し、中身も充実させたものとする。三年目には、各グループが継続的に、そして安定したひろば運営ができることを目指していきます。さらに将来は、市や町のサポートのものと、県民や地域団体、NPOなど、子育てに関わるすべての方の主体的な参画と協働により、子育てを支え合う社会が実現できればと考えています。

EVENT SCHEDULE

第1回神戸アコースティックタウン

日本のフォークソング発祥の地・神戸。「フォーク・クルセイダース」を世に送り出したAM神戸（ラジオ関西）の開局50周年を記念し、ヤマハと共に催でフォーク&ニューミュージック系のアコースティックコンサートを開催。



9/6(金)～10/6(日)
12:00～20:00 会期中無休
美術画廊ギャルリ・ムスタッシュ（地下鉄「心斎橋」駅・大丸百貨店南口より清水町通りを東へ300m）
☎06-6253-0440

寺門孝之展 「CINDERELLA,dragon」

ボスターや本の表紙、ドラマのタイトルバックなど、活躍の場を広げる画家・寺門孝之の最新作・関西未発表作品を中心とした展覧会。

会場であるギャルリ・ムスター（大阪）は寺門が神戸にアトリエを移して以来、毎年新作

展を開催している。

松山バレエ団公演のために描かれた「シンデレラ」、首都圏外郭放水路完成式典「龍誕祭」でライブペインティングを行って以来てらびかワールドに居着いてしまった龍をモチーフとした新作群を始め、おなじみの天使から油彩、デッサンなど。話題の「闇の妹」シリーズも再考

9/6(金)～10/6(日)
12:00～20:00 会期中無休
美術画廊ギャルリ・ムスタッシュ（地下鉄「心斎橋」駅・大丸百貨店南口より清水町通りを東へ300m）
☎06-6253-0440

ART

9月21日は杉田二郎＆細坪基佳（ジローズ2002）、ばんぱひろふみ、紙ふうせんが出演。22日は杉田二郎、高田渡らが出演、23日は、「イムジン河のためのコンサート」と題し、きたやまおさむ



9/21(土) 18:30開演 神戸新聞松方ホール 4500円（全席自由）
9/22(日) 18:30開演 神戸朝日ホール 4500円（全席自由）
9/23(月・祝) 16:00開演 神戸文化ホール S席6500円 A席5500円（全席指定）
AM神戸事業部 ☎078-362-7374（チケットぴあ等でも発売中）

PLAY

劇団「七」公演 『郵便配達夫の恋』

1973年に創立された劇団「七」。震災後、活動を中止していたものの昨年5年振りに復活した。

歌手・あかりは、母の一周年忌法要のため、祖父が一人で住む田舎の灯台官舎に帰る。母の遺品を整理していると、まだ投函されていない一通の手紙を見つける。宛先は、あかりでも祖父でもない「郵便配達夫」…？愛とは？やしさとは？ケイタイやメールに慣れてしまった現代人に届ける心のメッセージ。



10/12(土) 15:00/18:30 10/13(日) 14:00
神戸アートビレッジセンター（「新開地」駅徒歩2分）
前売一般2000円 学生1800円（当日は+300円）
劇団「七」戸野本 ☎090-8231-1939

昨年5年振りに活動を再開した劇団

今年は彼女のもつ数多くのレパートリーの中から、映画音楽や、『テレビCMの名曲たち』と題し、最近テレビで流れている70年代のヒット曲を選んで歌うコーナーも。どこかで聴いたこ



10/6(日) 18:30開演
神戸朝日ホール（大丸神戸店東へ50m）
一般5000円 一般ペア9500円 小中高生3200円
まりの会 ☎078-333-0527
(神戸朝日ホール窓口、チケットぴあ等でも発売中)

まり遙ホープコンサート

vol.13「風の中のノスタルジア」

12年間の教員生活の後、歌手

とのある懐かしいメロディに、ゆつたりとした時間が流れる。

まり遙のトークとともに楽しむアツトホームなコンサート。

「まり遙が贈る大人のためのボビュラーコンサート」

とのある懐かしいメロディに、ゆつたりとした時間が流れる。

まり遙のトークとともに楽しむアツトホームなコンサート。

夢のようなおとぎ話にびつたりの寺

門孝之の世界

世界

EVENT SCHEDULE

MUSIC

9月 ライブハウス・スケジュール

■チキンジョージ
TEL.078-392-0146

- 10(火) メリケンシーガルズ
 11(水) 川村結花
 12(木) monographone
 13(金) 春名BAND
 14(土) モンセフ・ジュヌ・トリオ
 15(日) LOVE PSYCHEDELICO
 18(水) THEE MICHELLE GUN
 ELEPHANT
 20(金) 野呂一生
 21(土) BAND OF SHIGEO ROLLOVER
 22(日) NEWROTE'KA
 23(月) SPARKS GOGO
 26(木) 齋田真Trio
 27(金) TAR23/CHICKEN WING
 FACELOCK

■ ピアジュリアン
TEL 078-391-8081

- 6(金) 田中希美(vo) 近藤美香(p)
 7(土) 西本淳(sax)
 8(日) 清水久美子(vo) 奥野香織(p)
 9(月) 小笠原薰(vn) 山内尚子(p)
 10(火) 重水由紀(vo)
 11(水) ゆうきじゅん
 12(木) 近藤美香(vo) 高橋乗子(vc)
 14(土) 辻本慶子(p)
 15(日) 中島佐和(vn) 上田裕子(p)
 16(月) 辻本恵子(p)
 17(火) Jazz原田紀子 中山良一
 松田忠信
 18(水) 金澤佳代子(p)
 19(木) 近藤美香(vo) 高橋乗子(vc)
 20(金) 折川真理(vn) 中元智子(p)
 21(土) 赤堀祥子(p)
 23(月) 小笠原薰(vn) 山内尚子(p)
 24(火) 山崎慶子(ff)
 25(水) 藤澤企画
 26(木) 近藤美香(vo) 龍智子(p)
 27(金) 洛合桜(p)

■ Holly's
TEL.078-251-5147

- 6(金) 池田奈央(p)野口和生(d)
雨宮千晶(v)奥村美里(p)
7(土) 坂崎拓也(b)樋口広大(d)
13(金) HAWAIIANハレクラニ
BOYS
14(土) 畑山紀美代(v)杉本亨(p)
中島要(d)森本良平(b)
19(木) 宮下博行トリオ

20(金) 藤村麻紀(v)西田誠(g)笠井克彦(b)見選勝(d)
 21(土) HANNY NITTA(v)たくみゆか
 (p)奈良原祐一(b)中島要(d)
 26(木) 小出恭正(b)他
 27(金) "BBB"
 28(土) 長井美恵子(p)他
 10/3(木) 萩田和貴男(g)ほか
 4(金) 雨宮千晶(vo)佐藤美香(p)
 三原脩(b)樋口広大(d)
 5(土) EVE Rovin(尺八)Ron Mason
 (g)Dave Boyle (tb)小出恭正(b)
 松井道郎(d)林幸(vo)

■ イエローリボン
TEL 0798-34-2872

- 6(金) 山田っち&アコースティックバンド
 7(土) ハレクラニボーイズ
 8(日) Liverpool
 14(土) Trackers
 15(日) Stamped
 20(金) Daddy Boys Club Band
 21(土) Kenworth
 22(日) リズムコメッツ
 25(水) Hit Parade
 27(金) 45RPM
 28(土) Fool's Silver
 10/2(水) カントリーダンスレッスン
 4(金) 山田っち
 5(土) Velvets
 6(日) Rock'n' Roll Show

■萬屋宗兵衛
TEL.078-332-1963

- 7(土) Little Bossa 中村剛司(vo)
岡部誠(g)

13(金) 藤吉・高橋クインテッド

14(土) Leeast (world music)

19(木) 岸本勝(g) 清野拓巳

20(金) Hiroyuki Miyashita Original Live

22(日) ササヤマバンド B.N.バンド

24(火) 吉本章祐(Ts)辻佳孝(p)
水野篤(b)樋口広大(d)

26(木) 河内拓哉(g)浜村昌子(p)
坂崎拓也(b)小川慶太(d)

10/5(土) 安ヶ川大樹トリオ

■ WACA2
TEL.078-333-6768

- 7(土) 天野SHO With ARIZONA
 11(水) BLUES & BEYOND
 14(土) 45RPM
 20(金) BLACK CANDY
 21(土) ROMEL AMADO AND
 THE RED DOGS
 29(土) BLANK DISK & WACA2
 BAND

■ SATIN DOLL
TEL.078-242-0100

- 5(木) 小曾根実(p)古谷充(al)魚谷のぶまさ(b)上場正俊(d)

6(金) 奥田治(g)長井美恵子(p)時安吉宏(b)

7(土) 溝口恵美子(vo)牧知恵子(p)三原脩(b)

10(火) 里村稔(tenor)生田幸子(p)時安吉宏(b)

11(水) 矢野真道(vo)牧知恵子(p)三原脩(b)

12(木) 稲積昌子(vo)牧知恵子(p)若林美佐(b)

13(金) たながりか(vo)長井美恵子(p)時安吉宏(b)

14(土) 矢野麻衣子(vo)長井美恵子(p)三原脩(b)

15(日) 土岐英史(al)生田幸子(p)三原脩(b)江藤良人(d)

16(月) 里村稔(tenor)生田幸子(p)時安吉宏(b)

17(火) 奥田治(g)河村恭子(vo)吹田義仁(b)

18(水) 北良健佳(vo)牧知恵子(p)三原脩(b)

19(木) 田谷真理子(vo)長井美恵子(p)時安吉宏(b)

20(金) 矢野真道(vo)濱村昌子(p)時安吉宏(b)

21(土) 田谷真理子(vo)西島芳(p)若林美佐(b)

23(月) たながりか(vo)生田幸子(p)三原脩(b)

24(火) 里村稔(tenor)長井美恵子(p)時安吉宏(b)

25(水) 稲積昌子(vo)西島芳(p)時安吉宏(b)

26(木) 河村恭子(vo)長井美恵子(p)鷺見和広(b)

27(金) 矢野麻衣子(vo)牧知恵子(p)三原脩(b)

28(土) 田谷真理子(vo)濱村昌子
(p)砂川雅城(b)
29(日) 里村稔(tenor)生田幸子(p)
三原脩(b)

BIG APPLE
TEL. 078-251-7049

- 9(月) ひきたま(カリンバ・コラ・歌) 金子鉄心(ss,笛) 船戸博史(b) 高野正明(perc) 堀越大二郎(ジャンベ)

10(火) 宮地傑(ts,ss) 天野丘(g) 池田聰(b) 橋本 学(ds)

12(木) 北川潔(b) 唐口一之(tp) 竜田康彦(p)

13(金) Dakoreeno(vo) kiyoshi
(b) 竹中俊二(g)

14(土) 亀田邦宏(p) 清野拓巳(g)

15(日) 上田ケンジ(vo,g) 豊田道倫(vg) ミッキー(vo,g)

16(月) 渋谷毅(g) 渡辺純子(vo)
ナガオクミ(vo)

20(金) 岩田江(as) 山本信記(tp)
西浦徹(g) 山田裕(g) 稲田誠(c) 横川陽二郎(ds)

22(日) アマチュア・セッション・
デー(参加自由・JAZZ)

24(火) 泉邦宏(as) 小野章(b) 室堂彩
(fl,vib) 関根真理(ds,perc)

26(木) リホ(vo) 兼広宣(g)

27(金) 清野拓巳(g) solo!

28(土) ナガオクミ(vo,詩の朗読)
清野 拓巳(g)

29(日) Isaki yoshikazu & GO!GO!!
DANCERS

30(月) 兼広宣(g) 平田葉子(ss)
大岩宏(b) 濱田真一郎(ds)

10/3(木) キム サクCD発売記念
LIVE!! 木村知之(b)

4(金) SOLO CD発売 記念
LIVE!! 安川大樹(b)

5(土) 渡辺純子(vo,ビアニカ)
船戸博史(b)

8(火) 岩田江(as,ss,オカリナ)
三原脩(b) 光田臣(ds)

10(木) 荒嶮 廉一郎 (ts) BIG
BAND

13(日) 須山公美子(vo,accordion)
vs 倉地久美夫(vo,g)

TICKET

②(バーキン)カブトグミシモト(1希望するチケットを記入)
③(電話番号)4月号市内電話番号
④(住所)氏名
⑤(市内電話番号)06-20011
⑥(郵便番号)560-0011
⑦(都道府県)兵庫県
⑧(市区町村)神戸市中央区下山手
⑨(建物番号)4階
⑩(電話番号)FAX078-321-2795
⑪(メールアドレス)「月刊神戸」チケット部レジ
ント係までお送り下さい。

★西瀬劇場(瀬戸内水道筋)ヘア5組
9/7~20「プラットホーム」「ブライ
ベートレッスン 青い体験」▽9/21
10/4「家路」「がんばれディアム」

★ジネモサイン(ハーバーラント)2名
上映中「Reftener」▽9／21～「サイン」
▽9／中旬～「アバウト・ア・ボーイ」
▽9／中旬～「ロードトゥバーティショ

上映中／9／13
「陽だまりのグラウンド」
「ブラックホーク・ダウン」△9／14～27
「トレーニング・デイ」「ローラーボール」
△9／28～10／11「少林サッカー」「フレ

★新劇会館シネマ1(新開地) ベア5組
「明日があるさ」 上映中／10／4 猫の恩返し ▽9/
9／14／10／11 「それいけアンパンマン」 ▽14/
11／10／11 「命」 ▽10／5／11／1

★ペーネンネマ(西区) ベア5組
シャンス11 ▷9／20～10／1
「ランド・ドライブ」「ヘドウイグ・アン
ド・アングリーインチ」▷10／2～11
「ラックホーク・ダウン」「スパイダー」

10／18・19市民映画劇場10月例会「マツリの種」(神戸初公開)ペア3組
★バルシネマしんこうえん(淡川公園)2名
9／7・19「パニック・ルーム」「オーラン

PLAY

まちの話題

コウベ タウン タウン



それぞれ個性的な11匹のねこたち。お魚求めて冒険にでかけるが、その結果は…（96年の公演より）

塾が子供たちに教えてくれないこと
忙しい大人たちが忘れていること

劇団おもちゃ箱「TOY・BOX・COMPANY」

8月号でも紹介した劇団おもちゃ箱は、中学生までの子供たちでつくるキッズ部門と、高校生以上の大人たちでつくる青年部「TOY・BOX・COMPANY」がある。どちらも歌と踊り、いっぱいの楽しい舞台を繰り広げながら、最後に私たちに課題を与えられる機会を与えてくれる。

「劇団おもちゃ箱」は、歌手でありタレントであり女優のゆうきじゅんさんが中心となって、創立された子供たちのための演劇団。その後、1990年にゆうきさんが全日本プロシャンソンコンクールで銀賞を受

賞し、歌手として活動のはばを広げたあとも、震災を乗り越えて続けられてきた。創立当時子役として活躍した人たちや家族たちに支えられてきた。

「そんなに大層なことは伝えるつもりはないんだけど」とゆうきさん。「人として当たり前の気持ちを大切にしてほしいというのが思っています。人間はいざというとき、自分と自分の身内を守ってしまうものだけれど、普段は他人のことを考えられたらいな、と思います。」

11月の公演は、井上ひさし原作の「11匹のねこ」を上演する。お腹をすかせた11匹のねこたちが冒険の末、大きな魚を捕まえる。笑いあり冒険ありの楽しいあらすじと、ショッキングな結末は見てのお楽しみだが、この舞台の最後にはひとつ環境問題が提示されている。ぜひ子供たちと一緒に見て、一緒に考えてほしい舞台だ。

■劇団おもちゃ箱
神戸市東灘区住吉宮町4・1・19
078・821・4355

「11匹のねこ」公演案内

11月29日（金）19時開演

兵庫県民小劇場

前売券一般2000円 子供1000円

（当日は+500円）

※この公演のチケットを、5名様にプレゼント!!

住所・氏名・電話番号を明記の上、

〒650・0011

神戸市中央区下山手通2・13・3

建創ビル4F

月刊神戸つ子「11匹のねこ」

チケットプレゼント係まで。

※8月号のご案内に誤りがありましたので、ここであらためて公演のご案内をします。ごめんなさい。

劇団おもちゃ箱9月公演
「タイムスリップ! 3」

9月14日（土）16時

東灘区民センター・うはらホール

前売一般2000円 子供1000円（当



ピッケル
P - I - C - K - E - L - L

気軽なフレンチビール 「Bonne Biere」

*ボンヌビエール

店名はフランス語で「おいしいビール」という意味。

「おいしいものを安く気持ちよく食べてほしい」と、コース料理も2800円~とお手頃。そのとき旬の素材を調理するので、ソースやつけあわせは毎週のように変わる。焼きバナナや黒ごまのアイスクリームなどの

デザートもおすすめ。お昼はステーキランチ1000円~。

山木さんが仕入れるワインと約40種類のビール。半分はベルギーのビールで、色や味わいがバラエティ豊かなのが特徴。料理に合うワインやビールをアドバイスしてもらうのも楽しみ。

ほんとうにうまいものを少しずつ

格子戸を開け、カウンターに座ると目の前にずらり

と並んだ地酒、そしておでんのだしの香りが漂う。大根、ぎんなん、湯葉、ごぼう天、すじなど約50種類のおでんと一品料理は、季節ごとに変わり、産地にもこだわった旬の素材が使われている。かつおと昆布、とりが

らを煮込んだだしを上品な味わいで、だし汁は最後までいただいてしまう。ほんとうにおいしいものを、少しずつ食べる幸せが感じられるお店だ。たらこや鮭がたっぷりのつたお茶漬けも人気メニューのひとつ。

各地の地酒や、焼酎も豊富に揃っている。

おでん「たばる坂」



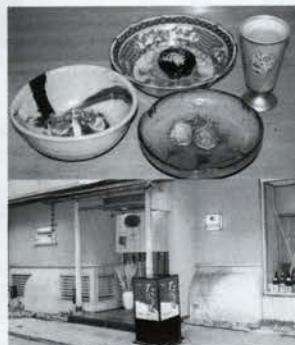
外の喧騒から遮断されたゆったりとした空間で、オーナーおふたりが出迎えてくれる

なんとなくくつろぎたい夜は フード&バー「Rip Van Winkle」

今年3月にオープンしたてのフレード&バー。オーナーの坂本さんと植村さんはどことなく不思議な雰囲気のおふたり。でも気さくに迎えてくれるので、グループで行つてもひとりで行つてもなんびりとくつろいだ時間が过ごせる。カウンターワーク(500円)など。



■リップヴァンウインクル
神戸市中央区下山手通2-12-6
サンライズビル2階
090-565-00105
19:00~ 月曜休



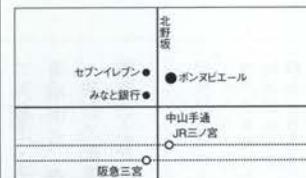
(上) 大根みそ、海老だんご、いわしのつみあげ料理が盛られたうつわも楽しみのひとつ(下) こざっぱりとした温かい玄関



■たばる坂
神戸市中央区加納町4-9-12クリスタルコート1階
078-391-3120
平日・土曜16:00~24:00
月曜・祝日16:00~22:00
年中無休(正月は除く)



(上) れんが造りがかわいらしく(下) ビールの中には専用グラスがあるもの多く、グラスと一緒に楽しめる



■ボンヌビエール
神戸市中央区中山手通1-22-5
078-261-8818
ランチ11:30~13:30/ディナー17:30~22:00 月曜休